

小笠原  
世界自然遺産
十周年   



——— 世界自然遺産登録 10 周年記念番組 ———

Bonin Discovery TV

～自然と暮らしを紡ぐヒトビト～

 **YouTube**
で配信中



企画：小笠原諸島世界自然遺産地域管理機関現地事務局（環境省、林野庁、東京都、小笠原村）

制作：小笠原村

Bonin Discovery TV ～自然と暮らしを紡ぐヒトビト～

世界自然遺産登録 10 周年を記念し、7 つの番組を制作しました。進化と変化を続ける小笠原の島々で、自然を“未来へ”と“暮らしに”と紡ぐ人々にスポットを当てています。

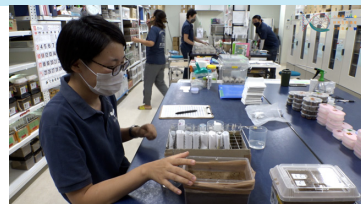
また、小笠原の身近な自然や生き物を紹介するショート映像「オガミニッツ」が各番組のどこかで流れます。

ガラス張りの部屋のナゾ (31 分)

小笠原の遺産価値やその保全対策に関する展示が見られる小笠原世界遺産センターには、“ガラス張りの部屋”があります。この“保護増殖室”の謎に迫ります。

小笠原固有のカタマイマイ類と昆虫オガサワラハンミョウ保全の取組や兄島・異島の自然も紹介しています。

オガミニッツ：「声の主を探して」
「ど根性！コンクリート希少種」



UMIGOMI (31 分)

世界のどこかの海で捨てられたゴミは、海上を漂い、小笠原の海岸や浜に流れ着き、人と自然に様々な影響を及ぼします。

そのような海ゴミの現状と、子どもたちによる海岸清掃、日々ゴミを拾う人たち、そして回収されたゴミの行き先を取材しました。

オガミニッツ：「都レンジャーと生きもの探しに行ってみよう！～初寝浦編～」
「生き物屋の休日～オガ森でオガヨシ～」



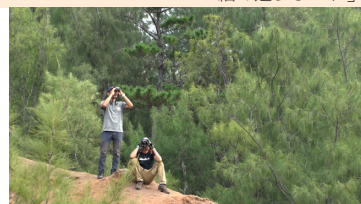
オガヒワを知っていますか？ (30 分)

みなさん、オガヒワを知っていますか？

オガヒワことオガサワラカワラヒワは、今は母島列島にしか生息しておらず、近年絶滅の危機に瀕しています。このオガヒワを守る人達に密着しました。

オガヒワの繁殖地である母島列島の向島の自然の様子も併せてお伝えします。

オガミニッツ：「知っていますか？ハハジマメグロのあれこれ」
「結の道レポート」



エコツアーのその先へ (32 分)

自然を持続的に利用しながら、魅力を伝える“エコツーリズム”。この先進地である小笠原では、これまでどのような取組が行われ、これからどのような未来があるのでしょうか。父島・母島の各ガイドと村長の対談を通して、小笠原の今のエコツーリズムとその先を考えてみます。

オガミニッツ：「都レンジャーと生きもの探しに行ってみよう！～大神山公園編～」
「GSS 石門ツアー」、「夜のおさんぽ」



おがニャンプロジェクト (32 分)

小笠原には、山にいるノネコと街にいる飼いネコの 2 種類のネコがいます。どちらのネコも幸せになれるようにする取組は、野生動物が安心して暮らせる環境づくりにもつながります。ここでは、小笠原の山で捕獲されたネコが、本土で幸せに暮らせるようになるまでを取材しました。

オガミニッツ：「万年青浜」
「GSS 東平 サンクチュアリー 紹介」



秘境の島 (30 分)

30 余りの島々からなる小笠原諸島。父島から西に約 130km の西之島、母島から南に約 160km の北硫黄島、さらに 135km 南の南硫黄島。これらの島は、ほとんどの人が立ち入ったことがない秘境の地です。この 3 島の貴重な映像を、現地に行ったことがある人のインタビューを交えてお届けします。

オガミニッツ：「都レンジャーと生きもの探しに行ってみよう！～南島編～」
「村民参加の森づくりプロジェクト～オガグワの森～」



現場は無人島 ～世界遺産の黒子たち～ (31 分)

「自然を守る」というと、生き物の専門家や地元 N P O、行政をイメージしますが、ちょっと待ってください！一見、ヘルメットをかぶって土木現場にいそいそでも、小笠原の自然を保全している人達がいいます。

彼らの仕事現場である煤島、嫁島、弟島の自然の様子も併せてお伝えします。

オガミニッツ：「アホウドリモニタリング現場だより」
「オガサワラベニシオマネキの観察」

